

## 地域との協力について



### (1) 鶴見区のスポーツ振興のための地域支援

#### 信頼と実績 子どもから大人まで安心・元気に

私たちは鶴見スポーツセンターの開設当初から、施設の管理運営だけでなく、鶴見区のスポーツ振興を図る地域のスポーツ団体などへの支援に取り組んでまいりました。

第4期指定管理においても、鶴見区民やスポーツ団体とのコミュニケーションの重要性を認識し、子育て支援や健康づくりなどの取組をさらに充実させます。子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域に根ざした運営者として勤めます。



鶴見区子育て支援ネットワーク会議  
R1. 10. 30

#### ア 未来を創る子ども一人ひとりを地域で支えます

鶴見区は、2042年までに人口が増加傾向で推移すると見込まれ、20歳代から40歳代のいわゆる「子育て世代」を中心に転入者が増えることから、子育てのしやすい環境を整備していくことが求められます。また、行政区別平均年齢43.91歳と横浜市内第3位、横浜市や全国は減少傾向が続く0～14歳の年少人口は、微増から横ばい傾向です。

私たちは、区民利用施設として関係団体と連携を図り、未来を創る子ども一人ひとりを地域一体となって支え、鶴見の子どもたちが健やかに暮らせる地域づくりを担います。



つるみ区子育て支援ガイドブック

#### 次世代育成支援への取組

##### ● 「すべての親子が安心して過ごせる居場所

##### 必要な時に気軽に子育ての相談ができる人に出会える鶴見区」

第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画では、生まれる前から青少年期までの切れ目のない総合的な支援を推進しています。

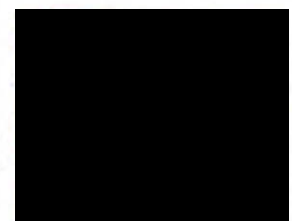
私たちは、教室の参加者を対象とした託児サービス（一時保育）を拡充するほか、横浜市の子育て家庭応援事業「ハマハグ」の協賛認定施設として、ロビーやキッズルームを開放することで、子育て世代や子どもたちが安心して過ごせる居場所を作り、子育てサービスの充実を図ります。

また、キッズルームに授乳スペースを確保し、親と子、そして子育て世代の交流の場となるよう開放します。



##### ● 地域子育て支援拠点「わっくん広場」との連携

私たちは、地域子育て支援拠点「わっくん広場」や鶴見区福祉保健センターこども家庭支援課と連携し、支援の場や機会の拡充を図るとともに、子育て支援ネットワークを主体とした交流イベントを協働で実施します。



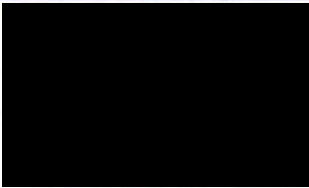
土曜日開催！  
親子リミックスイベント



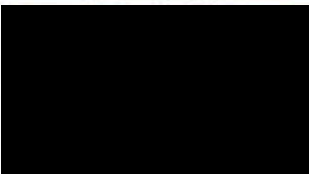
● 多文化共生の街、鶴見ならではの国際交流イベントを開催

鶴見区は外国人児童数が横浜市内で最も多く、多国籍化が進んでいます。各国の文化を尊重できる人材へ青少年が成長できるよう、鶴見国際交流ラウンジの協力を得て、国際交流イベントを開催します。

また、横浜市内で最もブラジル人の多い鶴見区にとって、ブラジル文化は鶴見区の特徴となっています。2016 リオデジャネイオリンピック・パラリンピックの際には、機運醸成や両国のさらなる相互理解を目的とし、鶴見区地域振興課協力のもと「Let's sports!Brazil!」を開催しました。



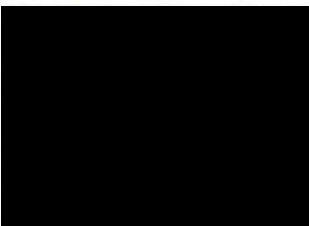
カポエイラ体験



ブラジルの児童とサッカー交流

■ 子どもの体力向上への取組

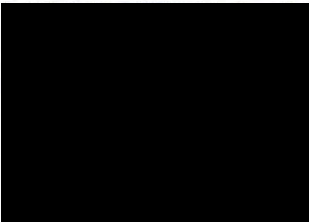
横浜市は、横浜市スポーツ推進計画において「子どもの体力向上事業の実施及び拡充」を掲げています。私たちは、スポーツセンターで開催する子ども対象教室のほかに、保育園や小学校において子どもの体力向上事業を積極的に行います。



小学生対象：マット運動教室

● 幼児期からの子どもの体力向上への取組

当団体は、保育園への「はつらつキンダー」訪問プログラムを実施しています。遊びを通して幼児期に多様な動きを身に付けるとともに、生涯にわたって運動を楽しむための基礎的な力を発達させます。また、横浜市子ども青少年局と連携した「保育士向け運動指導研修」を実施し、保育士の運動指導スキル向上を図ります。



区内保育士向け研修  
会場：豊岡小学校

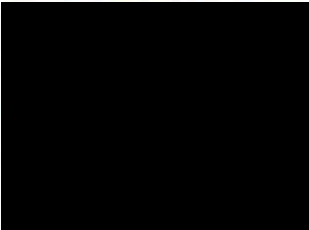
■ 直近 5 かに訪問した保育園

保 育 園 名	延園児数
鶴見保育園、芦穂崎保育園、潮田保育園、馬場保育園、にじの風保育園、ナーサリーつるみ、すずらん保育園、ビーンズ保育園 他	3,401 名

● 小学校における『体力向上プログラム』の展開

私たちは、学校と家庭、地域と協力しながら、児童が関心を持てる運動やスポーツを継続的に取組めるよう、「体力向上プログラム」を展開します。児童が定期的に運動に親しむ機会を設けることで、主体的・日常的に体を動かし、適切な運動習慣を身につける一助となります。

鶴見区内小学校の「学校保健委員会」と連携し、委員児童と教職員、PTA に健康と運動の必要性について講義や実技を行い、児童の主体的な活動を促します。



けが予防・スポーツリズムジャンプ

■ 直近 5 かに訪問した小学校

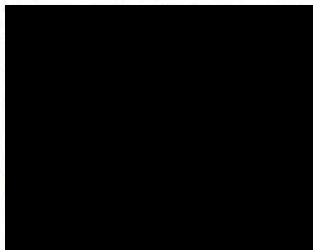
学 校 名	延児童数
市場小、末吉小、下末吉小、上末吉小、汐入小、潮田小、旭小、駒岡小、上寺尾小、岸谷小、豊岡小、平安小、生麦小	3,939 名



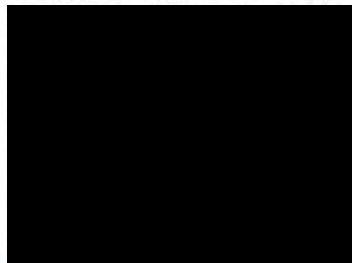
### ● 『ハマスポチャレンジ動画』の展開

当団体は、感染症拡大防止対策で学校が休校等により直接訪問できない場合に備え、体づくりを目的とした動画を作成しています。

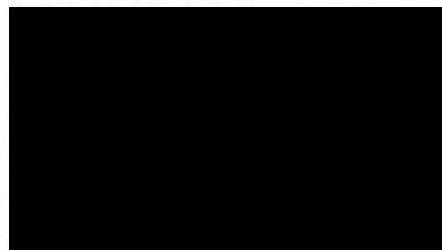
学校や自宅において気軽に運動ができるよう、SNS を活用した配信や小学校ホームページへの掲載および動画の提供により、運動機会の減少による体力低下を防止する取組を行います。



市場小学校・体操 DVD 作成



Twitter で配信



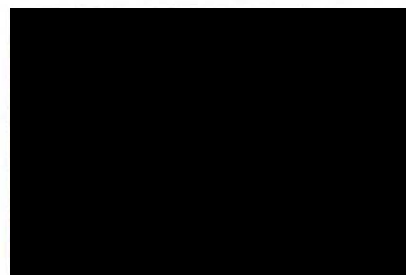
体育授業のポイントを動画で提供

## イ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップのレガシー継続

世界的なスポーツの祭典の自国開催は、市民のスポーツ関心度や子どもたちが生涯に亘ってスポーツに親しむための、絶大なチャンスと捉えています。私たちは、鶴見区民の皆さまに世界的なスポーツの祭典のレガシー「長期にわたる・特にポジティブな影響」を遺せるよう、取組みます。

### 東京オリンピック・パラリンピック教育事業

当団体は、東京オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の取組において、「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に対しパラスポーツ普及啓発メニューを提供しています。パラスポーツ普及啓発メニュー提供の一環として、ボッチャ体験を実施するなど児童のオリンピック・パラリンピックへの興味関心やパラスポーツへの理解につながるよう取組を継続します。



ボッチャ体験授業

### Sport in Life プロジェクト（スポーツ庁認証）

スポーツ庁は「スポーツを行うことが生活習慣の一部となる」よう、多くの方がスポーツに親しむ社会の実現こそが、目指す”レガシー”としています。当団体は、スポーツ実施率向上に取り組む団体として「Sport in Life」の認証を受けています。スポーツ・健康づくりムーブメントが、オリンピックによる一過性のものでなく、持続的な活動となるよう、定期的にイベントを開催し、持続的に啓発します。



ロビーの走り幅跳び記録

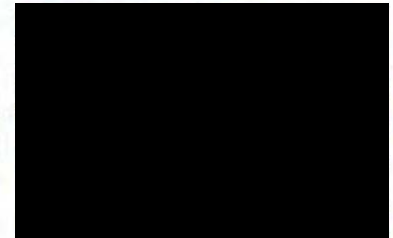
## ■ 団体の組織力を活かします！

鶴見スポーツセンター周辺の環境を活かした競技の応援事業を行います。区民の皆様へ、オリンピック・パラリンピックをはじめとする「みる」・「する」・「ささえる」スポーツをより身近に感じていただけるよう啓発事業に取り組みます。鶴見川漕艇場や横浜市ボート協会と連携したイベントを行います。



世界トライアスロンシリーズ横浜大会©shugo

■ 日本ボート協会「全国マシンローイング横浜B大会」への協力  
 全国マシンローイング大会(主管:横浜市ボート協会)は、オリンピック候補タレント発掘事業として初回大会から協力しています。加盟団体による啓発事業に当館の優先利用枠を確保するなど、大会を盛り上げる利用に協力します。



## ■ Impact Beyond 2019 レガシー展示

日本中を熱気に包んだラグビーワールドカップ 2019™ 決勝戦は、当団体が管理する日産スタジアムで開催されました。鶴見区の皆様にレガシーを遺すために、当団体スタッフが帯同した日本代表チームの選手サイン入りジャージや記念写真を展示したコーナーを設置します。

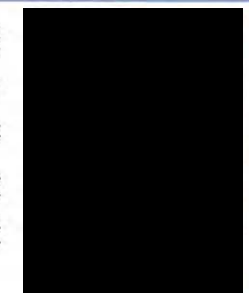


ラグビーワールドカップ記念展示

## ウ 障がい児・者へのスポーツ支援

### ■ 地域におけるインクルーシブ事業の推進

障がいの有無に関わらず、誰もが身近な場所で継続的にスポーツを楽しむ機会を創出します。地域におけるスポーツ振興の担い手である、鶴見区スポーツ推進委員、鶴見区さわやかスポーツ普及委員会、総合型地域スポーツクラブ等を対象としたパラスポーツに関する講習会を「障害者スポーツ文化センター横浜ラポール」と連携して実施し、スポーツセンターやケアプラザ、その他身近な施設で、簡単に楽しめる新たな種目の体験交流会を開催します。

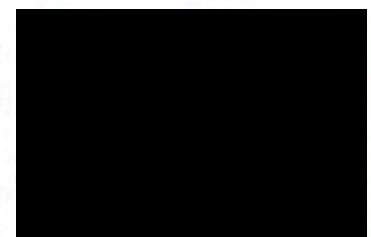


ラポールと連携した講習

### ● 特別支援学校との交流

障がいのある子どもたちに、スポーツを通じて元気を届け、スポーツへの興味・関心を高めるとともに体力の向上を図ることを目的として「こどもスポーツ基金」を活用したイベントを開催します。

第4期指定管理期間においては、鶴見区内にある「鶴見養護学校」と連携し、児童・生徒が継続的に運動ができる機会を提供します。



横浜こどもスポーツ基金活用事業  
 車いすバスケットボール教室



## ■ イベントでの交流促進

鶴見スポーツセンターでは、鶴見区・神奈川区内の障がい児・者団体のの方々による新春福祉餅つき大会（横浜労働福祉協議会東部支部と横浜東部地区連合主催）が毎年開催されています。

私たちは、来賓をはじめ毎年 400 人以上の方が集まるこの催し物に、会場提供のほか大会の円滑な運営に協力しています。

第 4 期指定管理においても、関係団体の催し物に協力し、誰もが身近な場所でスポーツを交流の場を創出します。

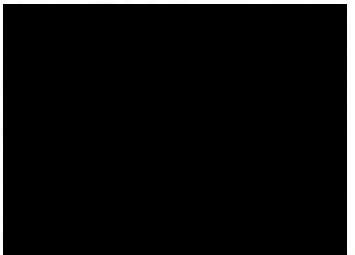


年末福祉もちつき大会

## ● リハビリスポーツ体験会を通じた継続的な支援

ボッチャ・カローリング等の種目体験と、参加者同士の交流を深めることを目的に開催されるリハビリスポーツ体験会に運営協力し、初級障がい者スポーツ指導員の資格を有する職員が担当します。

自主グループや中途障害者活動支援センター、地域で暮らす中途障がい者同士の情報共有の場となり、スポーツを通して成功体験による自信・意欲の獲得や、社会参加機会の拡大を図ります。



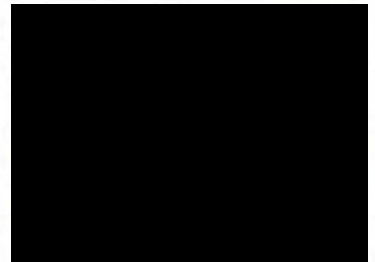
自主グループ  
ローリングバレーボール体験

## エ 高齢者の生きがいづくりに資するスポーツプログラム

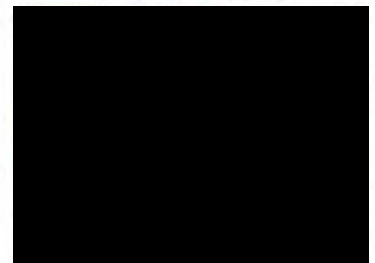
私たちは、鶴見スポーツセンターが高齢者の生きがいづくりの場となるよう積極的に取り組んでおり、平成 30 年度の鶴見スポーツセンター定期教室では、年間延べ 12,000 人以上の高齢者にご参加いただいています。

第 3 期指定管理期間中において、継続的に運動が実施できるよう、高齢者対象教室を 3 教室増設しています。第 4 期指定管理期間では、新たな取り組みとして関節の負担や痛みを軽減し、日常生活の支障をなくすことを目的とした「膝腰痛機能改善」教室を展開します。

また、経験豊かなシニア世代の方に、受付等のスタッフやスポーツ・文化教室の講師として採用するなど、多くのシニア人材に活躍していただきます。



笑顔いっぱい「脳トレ」



教室プログラムのご案内



## オ 地域の健康づくり

横浜市では、「健康寿命日本一のまち」を掲げ、「よこはまウォーキングポイント事業」を導入しており、市民の健康づくりにウォーキングは欠かすことのできない運動となっています。

第4期指定管理においても、引き続き地元の魅力発信、地域の健康づくりを推進するために、ウォーキング事業に取り組みます。

### ■ 鶴見の魅力再発見！ウォーキング事業の実施

私たちは、鶴見区運営方針である「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」を基に、鶴見区の魅力再発見していただくことを目的として、鶴見区福祉保健センターや自治会、町内会、各地区の保健活動推進員と連携し、「鶴見・魅力ウォーキング」を実施します。

また、ワックンカルタお散歩マップの活用や千客万来つまみプロモーション事業の取組などを通じて、魅力を発信していきます。



馬場花木園ウォーキング

### ■ 子どもから大人まで安心元気！ ～ヘルスアッププランへの協力～

鶴見区の平均寿命及び健康寿命は男女ともに横浜市の平均を下回っています。また、心疾患・脳血管疾患・肝疾患等の生活習慣病について起因する死亡数が高い一方で、生活習慣病を早期発見する手段の一つである**特定検診受診率は横浜市の平均と比べて低くなっています。**

鶴見スポーツセンターでは、鶴見区福祉保健センターと連携を図り、疾病予防講座やフレイル予防、子育て世代への健康・運動啓発を通じ、食育を含めた生活習慣の見直しのためのプログラム提供等、「子どもから大人まで安心元気」をテーマに、鶴見区役所の運営方針に沿った取組をおこないます。



### ■ 2025年に向けた横浜型地域包括ケアシステム構築のための支援

鶴見区の要介護認定者数、要介護認定率は高い水準にあります。団塊の世代が75歳を迎える2025年を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、区役所や関係機関と方向性を共有し、地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針に則り取り組んでいきます。

身近な場所で、自発的に介護予防や健康づくりに取り組むグループの支援や高齢者が継続的にグループ活動に参加し、地域とのつながりが持てるような仕組みづくりとして、元気づくりステーション及び自主的に介護予防の活動を進めるリーダー育成に取り組めます。



横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた鶴見区行動指針

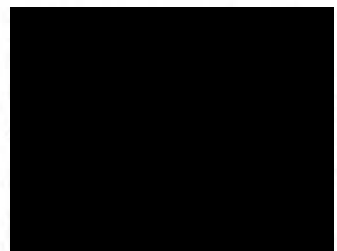


## カ 地域指導者の養成と育成

当団体が主催する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」や人材活用システムの登録者に対して実施する研修会では、当団体の専門的知識を有する有資格者が実技指導及び講義を行います。その他、市内スポーツセンター主催教室で地域指導者を積極的に活用するとともに、人材養成講座修了者や養成中の指導者を教室の指導者として活用するなど、実践研修の場を設けます。地域指導者の質的向上に努めるため、地域からの健康づくりに関する講演や講師依頼、人材の紹介依頼に積極的に協力します。

### ● 介護予防運動指導員の養成事業

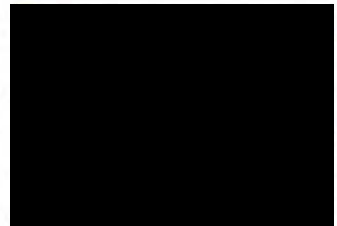
当団体は、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所認定の科学的エビデンスに基づく**介護予防サービスの提供、運動指導員の養成を認められた指定事業者**です。平成 30 年度から開始した養成講座では約 50 名の運動指導員を輩出し、介護予防のスペシャリストとして地域で活動しています。



介護予防運動指導員講座

### ● 鶴見区内で活躍する 14 人の地域指導者のみなさん

当団体は地域からの幅広い運動・スポーツ指導に対応していくために「横浜市人材活用システム」を管理運営しています。鶴見区では 14 人の登録があり、スポーツセンターの教室事業だけでなく、地域ケアプラザへの体力測定や小学校でのレクリエーション指導で活躍しています。



スポーツセンターにて活躍

横浜市人材登録システム鶴見区登録者の活動状況（平成 30 年度）

主な活動先	指導回数・延べ参加人数
地域ケアプラザ：駒岡・寺尾・鶴見市場・生麦・矢向 地区センター：生麦・矢向 自治会館：豊岡町自治会館、東寺尾自治会館 ほか	930 回/27,657 名



## (2) 地域連携の取組

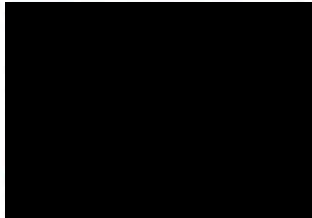
### スポーツを通じた「活気にあふれるまちづくり」

私たちは、身近なまちづくりに積極的に関わり、鶴見区役所地域振興課や福祉保健センターと調整を図りながら、区民、自治会、町内会、区体育協会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、保健活動推進員、その他関係団体と情報を共有し、連携体制を強化します。地域における課題や特性を十分に理解し、協働した取組を推進することで、鶴見区のスポーツ振興事業の促進、支援を行います。

#### ア 地域団体等との協力・連携によるスポーツ振興

##### ■ 鶴見区体育協会との連携

私たちは、鶴見区体育協会主催の地域貢献事業への運営協力をはじめ、総会や各部会会議に出席し、助言や情報共有等を行うなど支援をしています。また、年に1回屋内利用団体と打合せを実施し、各団体からの要望や情報交換をすることで、大会運営のアドバイスや大会参加者からのご意見を施設運営に反映させています。

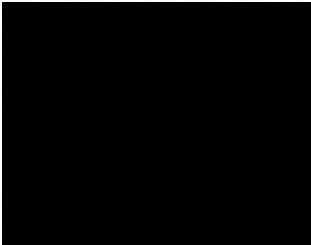


屋内利用団体打ち合わせ

##### ■ 鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会との連携

鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会は、スポーツを中心とした幅広い事業を実施しており、各地域で欠かせない存在です。私たちは、第3期指定管理期間において、連絡協議会が開催した研修会やフェスティバルで事業協力等、相互連携を図ってきました。

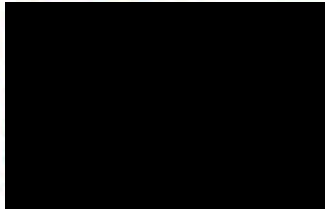
第4期指定管理においても、地域に精通する委員の方々と共に鶴見区のスポーツ振興を図ります。



鶴見ランニングフェスタ  
ゲスト:坂本雄次さんと親子ランナー

##### ■ 鶴見区青少年指導員協議会との連携

鶴見区青少年指導員協議会の活動の一つとして、「公立中学校生徒交流の集い」という学校や学区を越えて親睦を深める事業が開催されています。令和元年度には、鶴見スポーツセンターを会場にボッチャ体験会と「防災」をテーマにした意見交換会が開催されました。スポーツ用具や会場の貸出のみだけでなく、講師派遣等の事業協力してさらに連携を深めていきます。



意見交換会



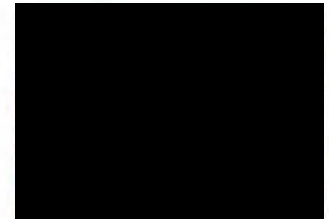


### ■ 鶴見区子ども会育成会連絡協議会との連携

子どもの健やかな成長を願う取り組みに、スポーツ・運動を通じて協働し、子どもたちの自主的なスポーツ活動の推進を図ります。

第3期指定管理期間において、潮田地区や末吉地区の子ども会と連携し、運動啓発事業を実施しました。

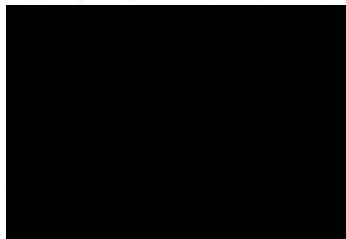
子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体と協働で、親子で楽しめるイベントを実施します。



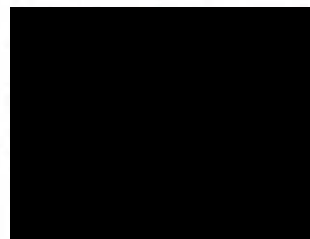
子ども会での運動啓発

### ■ 鶴見区老人クラブ連合会との連携

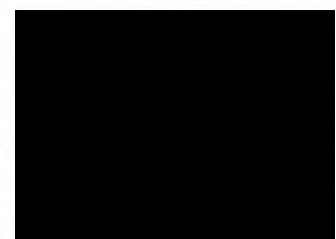
超高齢社会における地域社会の活力の低下や、単身世帯の増加に伴う高齢者の孤立化の問題が混在化しつつあります。このような中で、高齢者がスポーツやレクリエーション、健康づくり事業に身近に参加することで、運動を通じて健康で生きがいのある日常を実現できるよう協働し、「シニア大学」、「鶴見区版シニアスポーツの祭典」、「ボッチャ大会&ニュースポーツ体験」の運営協力など、高齢者の自主的なスポーツ活動の推進を図ります。



シニア大学健康講座



シニア大学受講生と協働イベント

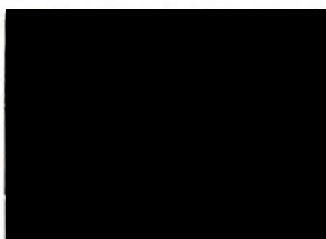


かがやきクラブ鶴見主催  
第1回ボッチャ大会の開催

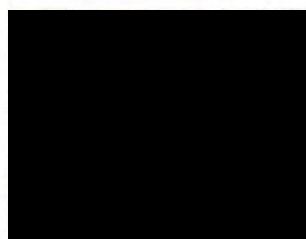
### ■ 鶴見区さわやかスポーツ普及委員会との協力・連携

ヨコハマさわやかスポーツは「いつでも・どこでも・だれにでも」楽しめるよう、ニュースポーツを使った地域ぐるみのスポーツ推進活動として昭和62年に始まりました。

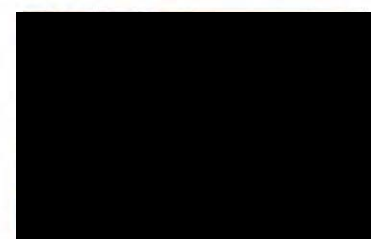
当団体は、鶴見区さわやかスポーツ普及委員会とともに33年間、地区活動や大会を支援してまいりました。今後も、子どもから高齢者、障がい児・者の方へスポーツの楽しさを伝えるとともに、区内スポーツ団体と連携を図り、ヨコハマさわやかスポーツを推進していきます。



鶴見区さわやかスポーツ普及委員会のみなさん



グラウンドゴルフ記念大会への  
景品提供

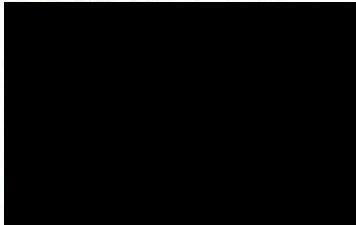


ボッチャ大会への運営協力

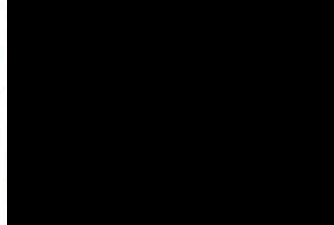


● 鶴見区で盛んな「ボッチャ」は地域の交流ツール

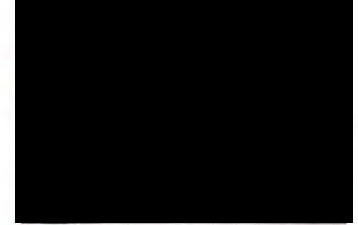
私たちは、鶴見区さわやかスポーツ普及委員会と共に、地域活動団体や区内学校等へ出向き、ボッチャをツールとして地域交流を図ります。また、地域で開催されるボッチャ大会の審判など運営サポートも行います。



区内小学校でのボッチャ紹介



ボッチャシートを活用した体験会

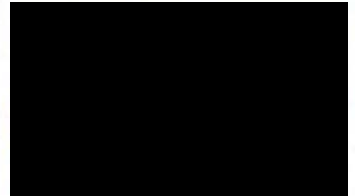


馬場地域ケアプラザ・ボッチャ交流会

■ 総合型地域スポーツクラブの支援

総合型地域スポーツクラブの地域活動・イベントにおいて、広報支援やプログラム提供をするなど、運営に協力をします。

今後もクラブが地域に根ざし、安定的に活動できるよう、スポーツ振興のパートナーとして、クラブの発展をサポートします。



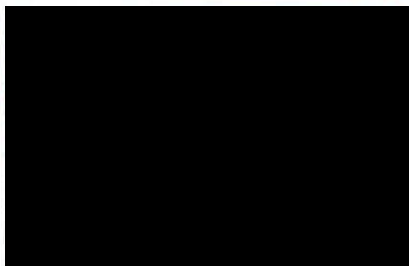
世界トライアスロン横浜大会  
給水ボランティア活動

■ サポートしている鶴見区内のクラブ

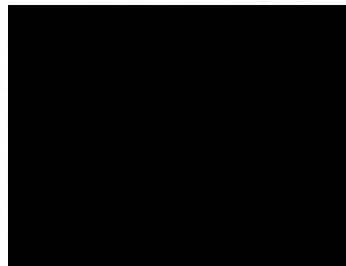
クラブ名	活動拠点
鶴見スポーツ&カルチャークラブ H23年設立	主に上末吉・駒岡地区
KAZU SPORTS CULB H24年設立	主に市場地区

■ 自治会町内会との協力・連携

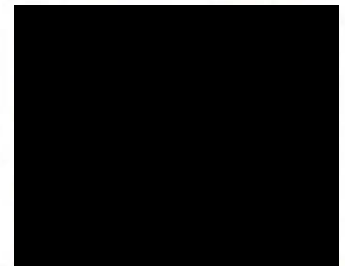
地元の事業者として、自治会・町内会に加入するとともに、更なる連携を深め、地域の活性化・健康づくりに貢献します。引き続き、自治会、町内会単位での介護予防や認知症予防の体操教室、ウォーキング教室、体力測定、鶴見スポーツセンター見学会など地域の要望に応じた支援を行います。実施にあたっては、保健活動推進員、自治会、町内会関係者等と協力することで、スポーツセンターに来館しづらい地域の方々のスポーツ・健康づくりを支えます。



自治会へのハマトレ講座



生麦地区での転倒予防講座

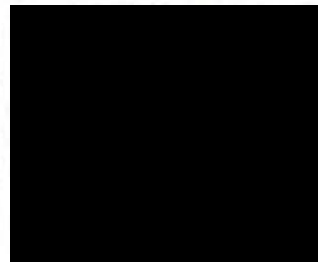


認知症サポーター養成講座



● 夏祭り等区内イベントへの事業協力

スポーツセンターに来館しづらい遠方の地域の方々にもスポーツをするきっかけづくりとして、区内イベントにてスポーツ体験会を実施します。第3期指定管理期間では、市場地区・市場第二自治会連合会が主催するゆうづる夏祭りに事業協力し、スポーツ体験を通じ、地域の方々のスポーツ・運動のきっかけづくりを行いました。



ゆうづる夏祭りへの出展

● 地域へのスポーツ用具の無料貸出

自治会町内会や地域での運動会、体力測定などのイベントの際に、教室で使用する玉入れなどの体育用品やさわやかスポーツの用具を、要望に応じて無料で貸出します。

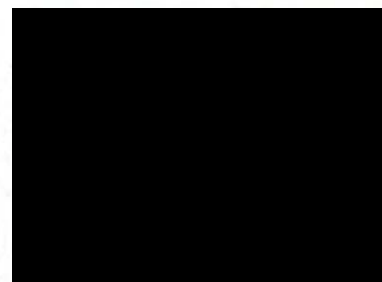


貸出用具の一覧

イ 鶴見区の健康づくりを推進する取組

私たちは鶴見区民の健康増進のために、各地区の多様な主体と協働し、身近な場所でスポーツ・健康づくりに親しめる環境を整えていきます。

鶴見区のスポーツ振興に携わる中で、29万人の区民に向けて一層のスポーツ振興・健康づくり推進を実現するためには、**スポーツセンター単体にとどまった活動だけでは不十分だと実感しています。**私たちは、鶴見スポーツセンターに来館しづらい遠方の方々も支援できるよう、団体職員や人材活用システムに登録する地域指導者など、**地域人材を活用した指導体制が整っています。**



健康づくり推進会議

一人でも多くの区民が運動・スポーツに親しめるよう地域の活性化・健康づくりに貢献してまいります。鶴見区のスポーツ拠点として区内全域でスポーツ振興・健康づくりを推進します。

■ 「ヘルスアッププラン」参画による健康づくり推進

区民の健康増進を図ろうという鶴見区の呼びかけに応え、鶴見区役所や医師会、地域団体、企業などが集まる「健康づくり推進会議」に参加し、関係団体や民間企業と一緒に課題解決に取り組みます。

第3期指定管理期間においては、運動のきっかけづくりなどを目的とした啓発リーフレット「今日からできる！ちょい足し運動」の監修を務め、より専門的な目線も入れ多世代向けに小冊子の発行に協力しました。

第4期指定管理期間においても、参加機関と取り組みを共有し、生活習慣病予防やオーラルフレイル予防、食育事業等、すべてのライフステージを対象にした健康づくり活動を行います。

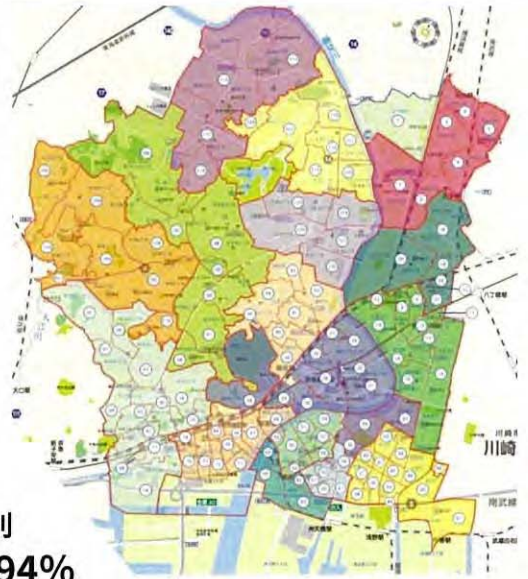


「今日からできる！ちょい足し運動」

■ 地域における健康づくりに関する講演・派遣事業の拡充

当団体の健康プログラム等派遣事業は、急速な健康ニーズの高まりにより、区内公共施設や自治会町内会等からの講演・指導依頼が増え、平成 28 年度からの派遣指導実績も、鶴見区内 17 地区連合町内会のうち 16 地区連合町内会のエリアで展開し、鶴見区全域での健康づくりに力を注いでいます。

これからも私たちは、体力向上や生活習慣病・介護予防、救命救急（AED 操作含む）研修等の派遣指導を実施するほか、このニーズに応えるために、当団体の人材活用システムに登録する地域人材の紹介を行います。



鶴見区連合町内会単位別  
件数 **71 件** 充足率 **94%**

■ 直近 5 か年派遣指導実績

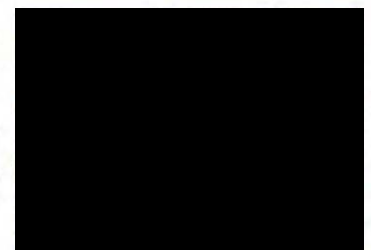
主 な 事 業 名 称
鶴見区リハビリ教室・横浜シニア大学（健康講座）・スポーツ推進委員ラジオ体操・保健活動推進員ウォーキング&ハマトレ講座・食生活等改善推進員養成講座・体力測定会・脳トレ&ハマトレ講座・正しい姿勢で楽しく歩こう・子育て支援 など

■ 鶴見区内公共施設との事業協力

特に鶴見区内の高齢化率が上昇している地域に拠点がある公共施設及び鶴見区福祉保健センター高齢・障害支援課と連携・協力し、高齢者の運動機会の創出につなげます。

● 地域ケアプラザとの事業協力

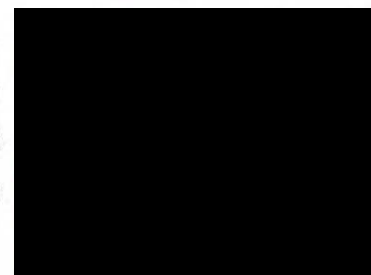
私たちは、鶴見区内の地域ケアプラザと連携・協力し、鶴見スポーツセンターに足を運んだことがない遠い地域にお住まい方を対象に高齢者のための体力向上プログラムや乳幼児と保護者のための親子体操教室などの事業を地域ケアプラザにて実施することで、運動機会の創出につなげます。



介護予防講座  
会場：馬場地域ケアプラザ

● 地区センターと連携した教室等の開催

鶴見スポーツセンターから遠い地域にお住いの区民で、当館に足を運ばない方々のために、鶴見区内の寺尾地区センター等で連携事業を行っています。第 4 期指定管理期間においても、連携事業実施の了承が得られた地区センターにて、健康づくり教室やスポーツセンター出張教室を実施していきます。



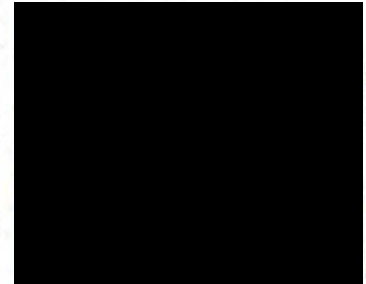
出張教室 健康美体操  
会場：寺尾地区センター



● 鶴見区中途障害者地域活動センター事業への協力

中途障害者地域活動センター（ふれんどーる鶴見）と連携した脳血管疾患等リハビリ教室において運動指導等で協力します。

また、鶴見区福祉保健センター高齢・障害支援課、汐田病院、横浜ラポールなど障害者スポーツ支援に携わる関係機関と情報を共有し、身近な施設でスポーツや運動ができるよう、スポーツセンター見学会を実施し、施設利用を促します。



スポーツセンター見学会

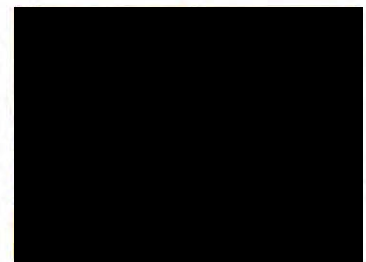
● 区民利用施設との情報交換

鶴見区では年に年に2～3回、区民利用施設長会議が区役所会議室で開催されています。事業の紹介や事故事例などを、鶴見区内の区民利用施設からのさまざまな情報を共有することにより、鶴見スポーツセンターの事業や管理運営に生かし、鶴見区全体の地域力の向上につなげます。

● ひざひざワックン体操&ハマトレ指導者養成講座

鶴見区福祉保健センター高齢・障害支援課より依頼を受けて、鶴見区役所職員や区包括支援センター職員をはじめ、地域で活動する方々を対象に、ひざひざワックン体操及びハマトレの指導に必要な講義と実技指導を開催しています。

第4期指定管理においても、各地域で継続的に活動できるよう指導できる人材を養成し、区民の健康作りを広めていきます。

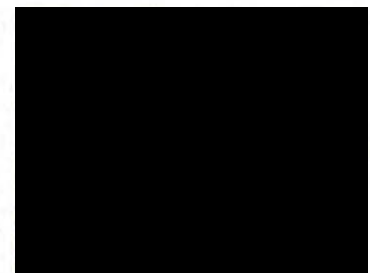


潮見橋地区主催ハマトレ体操  
会場：潮田地区センター

● 「元気づくりステーション」設立・活動支援

私たちは、高齢者の不活発な生活による心身機能の低下やフレイル予防のために、鶴見福祉保健センター高齢・障害支援課と連携し、体力向上プログラムを実施します。

また、鶴見区内の20か所で設立された「元気づくりステーション」において、自主的な健康づくり活動が継続できるよう、サポートします。



元気づくりステーション  
拠点リーダー養成講座

■ 区内企業への健康経営プログラムの推進

鶴見区の事業所数は9,393と市内で4番目の多さです。また事業所では、従業員の健康管理・健康づくりの推進を目的とした「健康経営」の取組が進んでいます。当団体は、区内の企業に健康経営の啓発をしていくため、ご協力いただける企業に当団体が作成した「横浜市歌」の体操DVD等を配布し、朝の体操習慣を広めていきます。

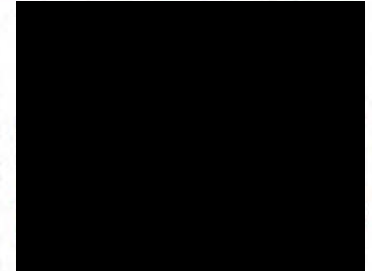
また、企業から相談があれば、出張指導や測定事業等を実施し、健康経営を推進します。



## ウ 地域との連携による防災・防犯への取組

### ■ 鶴見消防署と連携した防災訓練の実施

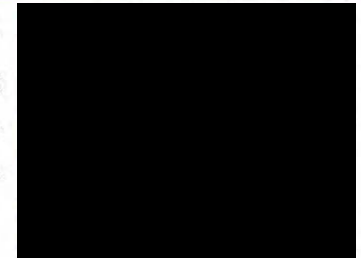
私たちは大規模災害において、人命を守るとともに被害を抑制し、円滑な救助・復旧活動に資する機能を維持するため、「災害に強いまちづくり」の推進を基本とし、鶴見消防署と連携した、初期消火、避難訓練を行います。また、自助・共助の考え方にに基づき、救急法講座の開催など、お客様、教室講師、地域住民を含めた合同訓練を行い、防災意識の向上や日ごろからの備えを強化するため、減災行動を啓発していきます。



鶴見消防矢向出張所との  
初期消火・防災訓練

### ■ 防災・防犯 啓発事業の実施

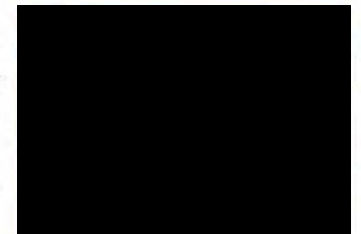
私たちが暮らす地域の特性を知ることは防災・減災・防犯に備える意識づけと地域コミュニティをつくりあげます。鶴見区運営方針の施策であります「**地域の力やつながりを育むまちづくり**」という視点から防災・防犯ウォーキングを実施します。災害時の訓練だけでなく、子どもたちの登・下校時の見守り等における防犯対策も目的とします。



上末吉保健活動推進員と  
合同防災防犯ウォーキング

### ● スポーツセンター防災運動会

防災を身近に感じ、楽しく学ぶ機会とした「防災運動会」を開催します。自主防災組織の活性化、地域の防災力の向上を目的とした地域防災ネットワーク活動を行うことにより、多世代の参加者が交流することで、地域住民のふれあい、コミュニケーションの促進につなげます。



はまキッズ会との連携  
防災運動会:担架リレー

### ■ 鶴見警察署と連携した啓発事業の実施

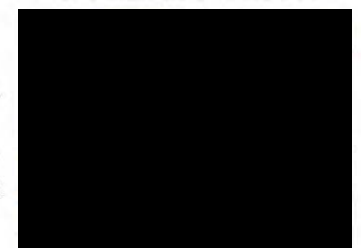
スポーツセンター周辺には働き盛り世代の家庭が多くなり、子どもの数も増えていることから、「子ども 110 番の家」等の緊急拠点として活用します。自治会、町内会等がパトロールする時は、進んでこれに参加するとともに、鶴見区の防災情報メールを毎日受信し、スポーツセンター近隣において発生した事件などを掲示し、お客様に注意を呼びかけます。



振り込め詐欺発生状況の掲示

### ● 「振り込め詐欺防止」啓発

私たちは、反社会的団体の活動撲滅に向けて、鶴見スポーツセンターの教室やイベントにおいて「振り込め詐欺防止」に取り組んでいきます。鶴見警察署の協力を得ながら「特殊詐欺防止講座」等に関する啓発事業を開催いたします。



特殊詐欺防止講座



## エ 地域住民の方や地元企業のご協力

私たちは、これまで地域の方や商店、団体から人的支援、物的支援をいただく場面がありました。第4期指定管理においても、鶴見スポーツセンターが親しまれるよう地域住民の方々や店舗、団体の皆様に呼び掛けを行い、協働して事業を推進します。

### ■ ご協力いただいた方へ感謝状を贈ります

鶴見スポーツセンターをサポートしていただいたボランティアの方々へ、所長から感謝状や礼状のお渡しや、記念品の贈呈などを行い、貴重な善意への感謝を伝えます。

## オ お客様・近隣住民・事業所との意見交換

### ■ 地域懇話会の開催

鶴見スポーツセンターでは、団体利用・個人利用・教室に参加しているお客様、近隣自治会や町内会などの地域の方々、区体育協会、スポーツ推進委員などのスポーツに関わる団体の方々にお集まりいただき、地域懇話会を開催します。

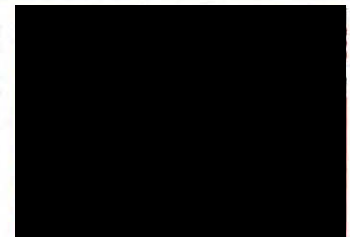
また、各地域団体の会議に参加させていただき、鶴見スポーツセンターの運営に関して様々なご意見・ご要望を伺うことで、指定管理者としてお客様の立場に立ち、地域に根ざした管理運営に努めます。



当団体管理施設  
オープンミーティングの様子

### ■ 「鶴見区新年賀詞交換会」での情報交換

毎年1月に、自治会、町内会や区内の主だった地域団体の方々の交流を目的として、「鶴見区新年賀詞交換会」が実施されています。所長が賀詞交換会に出席し、自治会、町内会や地域団体の方々と積極的に情報交換を行います。



鶴見区賀詞交換会

## カ 横浜市及び鶴見区と連携・協力した事業

当団体は、鶴見スポーツセンターの円滑な運営とともに、地域振興課が携わる区民対象事業について、積極的に協働し、円滑な連携体制によって地域のスポーツ振興に貢献していきます。

横浜市のスポーツ振興を担う団体として、これまでも鶴見区の区民対象事業に協力してきました。



● 区民フェスティバルへの参加によるスポーツ振興

私たちは、鶴見区で開催される区民フェスティバルにおいて、スポーツセンターの事業 PR を行いながら、スポーツや健康づくりの必要性を訴えていきます。

■ 第 3 期指定管理期間に協力している区民フェスティバル

鶴見川サマーフェスティバル	つるみ臨海フェスティバル
<p>出展者や来場者の方々へ スポーツセンターうちわ配布</p>	<p>区体育協会と連携した スポーツ体験会の実施</p>

(3) 地域貢献に対する取組

「横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例」に則り、私たちは、地域活動に参加するとともに、鶴見区が行う地域活動を促進する施策に協をします。また、地域の活性化・発展のための社会的活動や地元雇用など、地域の公共益に資する活動に取り組めます。

ア 収益を鶴見区のスポーツ振興に充当します！

鶴見スポーツセンターの管理運営を通して、予算を超える収益が得られた場合は、その一部を区民向けイベント、区体育協会への協賛など、鶴見区のスポーツ振興をはじめ、子育て・高齢者支援事業などの財源に充当します。

■ スポーツ・レクリエーションフェスティバルの実施 【再掲】

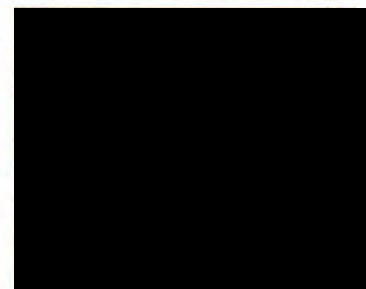
子どもから高齢者、障がい児・者を対象とした体験教室等、区民向けの還元イベントを開催します。実施にあたっては、地域の方々、区体育協会、さわやかスポーツ普及委員会、総合型地域スポーツクラブ、区内関連団体等と協働して行います。



スポーツ・レクリエーション  
フェスティバル 2018

■ 開館 35 周年記念事業の実施

鶴見スポーツセンターは、2019 年に開館 30 周年を迎え、「思い出写真展」や「ポイントカードキャンペーン」などの記念事業を実施しました。2024 年には開館 35 周年を迎えます。日頃からご利用いただいているお客様をはじめ、地元自治会、町内会、地域で共に活動する団体の皆様など、支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを込めた「開館 35 周年記念事業」を実施します。



思い出写真や記念パネルの展示





## ■ スポーツと文化の融合イベント

普段スポーツに親しむ利用者や施設近隣の方に向けた文化活動として、ロビーコンサートを開催します。今期は、サルビアホール協力のもと、東京 2020 参画プログラム「1000Days to Go!」（文化オリンピックアード）として『東京 2020 パラリンピック応援プログラム・鶴見スポーツセンターロビーコンサート』（協力：サルビアホール）を開催しました。

オリンピックゆかりの曲目で  
ロビーコンサート

## イ 地域の事業者としての取組

### ■ 地元住民の方の雇用

私たちは、清掃、受付、事務補助を行うコンシェルジュスタッフを、鶴見区の住民から採用します。また、区体育協会に加盟する種目団体の方々や、鶴見区在住のインストラクターを積極的に教室講師として登用することで、地域に根ざした親しみのある施設づくりを行います。

鶴見区のことならお任せください!

### ■ 地域活動への参加

鶴見スポーツセンターでは、職員が地域での清掃活動や福祉活動に協力する等、積極的に地域活動に参画しています。また、地域でのボランティア活動に積極的に参加します。

#### ■ 鶴見スポーツセンター職員のボランティア活動実績

保育園保護者会長、小学校PTA本部役員、小学校PTA役員、中学校PTA役員、高等学校PTA役員、保育ボランティア、子ども会本部役員、小学校読み聞かせボランティア、鶴見川清掃ボランティア、歩道橋清掃ボランティア、西日本豪雨災害支援活動、東京マラソン多言語ボランティア、バドミントン指導、鶴見区・福島県棚倉町都市間協定被災地ボランティア、薬物防止運動

### ■ 植木の手入れや樹木管理を通じて地域から愛着の持たれる施設づくり

美観を損なうことのないように、日ごろから外構管理を徹底して行います。特に、敷地外歩道の街路樹の落ち葉などが施設周囲の排水溝に詰まらないよう、周辺道路を含めて毎日の清掃を欠かさず行うようにし、地域の方々から愛着を持たれる施設環境づくりを行います。

施設周辺の美化に努めます

## 職業体験・インターンシップの受け入れ協力

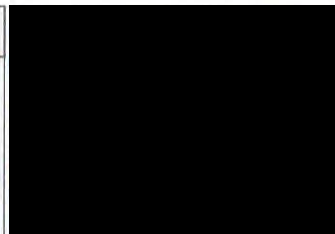
鶴見区全中学校の職業体験を受け入れます。また、インターンシップ、小学生の社会科見学、大学や体育専門学校等からの教育実習生の受け入れにも協力します。

### 受け入れ実績（平成 28 年度～令和元年度）

小学校：下末吉、末吉、市場

中学校：末吉、市場、寛政、潮田、矢向、上の宮、寛政、生麦、  
聖ヨゼフ学園

その他：市立教員（リーダーシップ研修）、県立教員 など



中学校職業体験

## 地域と共に持続可能な社会の実現

地元の事業者として、持続可能な社会の実現を目指し、地域のための募金などのチャリティ活動に積極的に取り組みます。

### ● 赤い羽根共同募金への協力

受付に共同募金箱を設置します。収集した募金は「鶴見区社会福祉協議会」に寄付します。

### ● 視覚障がい児・者と盲導犬を応援

受付にラブラドル募金箱を設置し、視覚障害児・者の支援活動や盲導犬の啓発運動を推進します。



ラブラドル募金箱

### ● 使用済切手収集で国際貢献

教室申し込み時に使用された使用済の切手を集め、アジア・アフリカの医療援助団体へ送付することでワクチンの提供等、現地の医療活動に貢献します。

### ● インクカートリッジ里帰りプロジェクトへの協力

使用済インクカートリッジを再資源化し、環境貢献に加え、環境保全活動に取り組む機関への寄付を行う里帰りプロジェクトに協力します。鶴見スポーツセンター内に使用済のインクカートリッジの回収箱を設置し、お客様にもご協力いただきます。



里帰りプロジェクト回収箱

## ウ 地元教育機関やプロスポーツ・商工団体等との連携

### 市立横浜サイエンスフロンティア高等学校との連携

鶴見区では、「青少年の科学への興味・関心を高め、想像力や探究心を育てること」や「高校生と小学生の異年齢交流を実現し、ともに育ち合う機会を創出すること」を目的として鶴見区青少年育成サイエンス事業を実施しています。私たちは、第 4 期指定管理において、鶴見区地域振興課や市立横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、小学生を対象とした“つるみサイエンス教室”を実施します。



イメージ



## ■ 日本体育大学との事業協定の締結

当団体は、日本体育大学と社会貢献推進事業に関する協定を結んでおり、互いの資源を有効に活用することで、地域住民の健康の維持増進、活力ある地域社会の実現を目指しています。

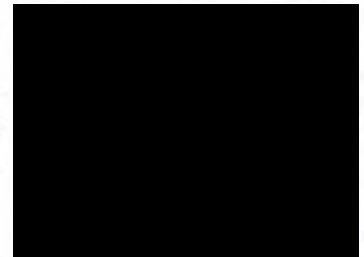
鶴見区内で開催する市民対象講座や実技指導の講師、体力測定の実施、スポーツイベントの運営補助など、各種事業を通じて連携し、鶴見区内におけるスポーツの普及・振興を推進します。

## ■ 地元商店街等との連携

「横浜市商店街活性化に関する条例」に基づき、商店街の活性化を通じ、地域社会におけるつながりを強化し、コミュニティを醸成します。

商店街が地域住民のためのにぎわいと交流の場となるよう、商店街でイベントを開催する際は、区役所、商店街連合会、商工会議所等と連携し、積極的にイベントに参画します。

また、商店街チラシの館内掲示やホームページへの商店街情報の掲載など、商店街の活動を積極的にPRします。



レアールつくの歳末セール  
握力測定会

## ■ 地元のトップスポーツとの連携

横浜には、野球、サッカー、フットサル、バスケットボール、ソフトボール、アイスホッケー、ラグビーなど「トップスポーツ」に関わる11のスポーツチームがあります。

当団体は、令和2年10月に創設された「横浜スポーツパートナーズ」と連携し、横浜市のスポーツ振興施策として、市民スポーツの振興や夢や感動を共有する機会を創出します。



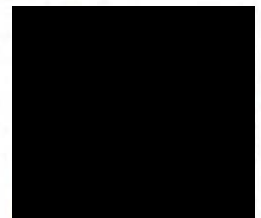
スポーツパートナー発足式典

## エ 障がい児・者等の社会活動の促進

### ■ 障がい児・者が作成した作品等の販売協力・事業所からの優先的調達

区内の障がい児・者地域作業所や中途障害者地域活動センターなどと連携して、鶴見スポーツセンター内での作品展示やパン等の販売協力を行います。

「障害者優先調達推進法」や「横浜市における障害者就労施設からの物品等の調達方針」に則り、鶴見スポーツセンターでは、障がい者の経済面の自立を進めるため、福祉団体や就労施設から、優先的・積極的に物品等を購入します。



大人気！  
麦の家パン販売

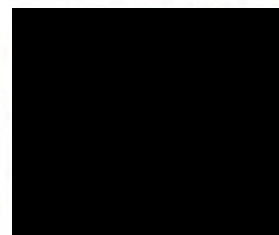
## オ 環境保全活動への取組

当団体は、持続可能な社会の実現に向け、鶴見区の施策に貢献し、区民、団体、他の事業者と連携して、環境保全活動に積極的に取り組みます。

### ■ 鶴見川クリーンアップの取組

第4期指定管理期間は鶴見川漕艇場や NPO 法人横浜市ボート協会と連携し、鶴見川沿いの清掃活動を実施します。

また、スポーツセンター近隣の商業施設に呼びかけ、「きれいな街つるみ」の実現のために、清掃活動をきっかけとした商業施設との協力関係を構築し、「安心のまちづくり」につなげます。



鶴見川クリーンアップ活動

### ■ つるみのまちを花と緑でいっぱい！「緑化事業」の推進

鶴見スポーツセンターでは、窓に面して緑のカーテンを作ること、夏の陽射しが強い時期の室温上昇を防ぎます。また、鶴見区の環境取組の一環である「コンテナガーデン」を鶴見スポーツセンターの正面玄関付近やエントランスで実施し、敷地内の緑を増やしていきます。



グリーンカーテン

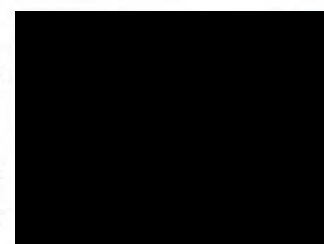


コンテナガーデン  
差し替え

### ■ 「もったいないをありがとうへ」

横浜市では、「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」において、分別・リサイクルのみならず、最も環境にやさしいリデュース（発生抑制）の取組を進めています。

鶴見スポーツセンターでは、お客様の使わなくなったスポーツ用品を他の方に譲り渡す「もったいない運動」を継続して実施します。また、各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設等へ寄付する「フードドライブ」を推進します。



フードドライブで  
集まった食品の寄付